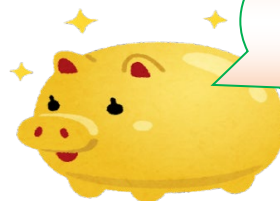


よい豚のもとをたどればよい種豚

国産純粋種豚改良協議会だより



ひきつづき・・・
豚だけでなく、
人間も疾病対策!!

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

国産純粋種豚改良協議会 事務局一同

第 15 号 2022. 1. 20 発行

あけましておめでとうございます。昨年末クリスマスあたりから降雪量が増え、地域によっては雪の多い新年となったと思います。また、ヒトの新型コロナウイルス感染についても 2 回目ワクチン接種完了者が増えたところに新株ウィルスの猛威。さらには国内で豚熱(CSF)の発生、近隣諸国ではアフリカ豚熱(ASF)の発生もまだまだ続いており、引き続き緊張感伴う新しい年の幕開けとなってしまいました。

皆様の絶え間ない創意工夫と努力のもと、『新しい養豚経営様式』に取り組まれておられ、心身ともに負担がかなり増えてしまっていると思います。事務局は、どんな時も生産者の皆様方が、安心して柔軟に生産継続できる環境と体制を整えることが出来るよう、支援と様々な手段で情報交換も積極的に行っていきたいと思います。

何かお困りごとや御相談ございましたら、お気軽に御連絡下さい。三人寄れば文殊の知恵、おひとりで抱え込まれませんように!!

令和 3 年度 国産純粋種豚改良協議会総会開催

12 月 23 日、国産純粋種豚改良協議会の令和 3 年度総会が、婦選会館 1 階多目的ホール(東京都渋谷区)にて開催されました。(一部 WEB 参加)

第 5 回目を迎えた総会では、有限会社ピッグセンター宝尺の宝尺実正会員並びに農林水産省畜産局畜産振興課の松本畜産技術室長(代読 井川課長補佐)から開会のご挨拶を頂いた後、令和 2 年度の事業実績及び収支決算に関する報告、監査結果の報告、令和 3 年度事業計画及び収支予算についての説明があり、全会一致で承認されました。

そのほか、協議会専用データベースシステムの運用開始と協議会遺伝的能力評価、種豚ランキングの公表、LP5 値の継続提出の呼びかけ、つなぎ評価の新たな取組提案、銘柄豚認定に関する規則に関する認定料や認定期間等の一部改訂案が提出され、承認されました。また国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚ロゴマーク決定とその利用許諾要領も紹介されました。

最後に、独立行政法人家畜改良センターの犬塚理事よりご挨拶を頂き、閉会となりました。その中で、本日の総会で国産純粋種豚の改良推進のためには遺伝的能力評価を用いることの重要性が再確認された、とお話頂きましたが、今年度第一回目の協議会専用システムを使った遺伝的能力評価と種豚ランキング公表があったことから、評価結果を有効活用することはもちろん、より精度の高いものにしていくためのデータ提出の重要性も改めて認識したことと思います。また、昨今の豚熱や新型コロナウイルスに対し、豚における飼養衛生管理の徹底や人における新しい生活様式の実践

を図ることの重要性もお話頂きました。冒頭の宝尺会員の開会ご挨拶にもありましたように、そんな中でも、私達種豚生産者は改良を続け能力の高い種豚生産と遺伝資源の維持管理に努めなくてはなりません。限られた行動範囲の中で、どのように国産純粋種豚の改良・維持管理と利用者拡大を図っていくか、非常に大きい課題ではあります。来賓の松本畜産技術室長からの開会ご挨拶の中で「農林水産省としても豚熱対応は重要な課題と認識しており、さまざまな対策を講じるとともに、全国の種豚生産者の皆様と意見交換を実施し、皆様の抱える課題や取組状況について随時お話を伺っているところでございます。引き続き、お困りの事などございましたら、御相談いただければと存じます。」(代読 井川課長補佐)とお話いただき、私達協議会だけではどうしても対応できない部分は、国の方にも積極的に協力を求めて参ります。

総会終了後には、温暖化に対応した豚の育種手法開発(研究開発事業)について会員への説明とデータ提出協力依頼、昨年度に続き現在の特徴ある肉質を維持しつつ能力向上を目指すための産肉能力検定規程改訂に伴う案件等について意見交換を行いました。

特に産肉能力検定規程改訂については改定内容によっては膨大なデータと特化した専門知識、検証期間も長期にわたって必要になってくることから、現在 2 回、関連のアンケート調査も行っております。引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。

後継者不足が強く言われている養豚業界ですが、実は協議会会員についてはかなり多くの『後継者』が現場で活躍されています。諸先輩方が元気に絶賛活躍中の今、後継者や若い世代の皆さんに秘伝の技術を伝授して頂くと同時に、継続可能、今話題の SDGs 養豚産業のリーダーとして、協議会の若い世代に頑張ってもらいたいという願いも込め、(仮称)国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部の立ち上げを事務局よりご提案させて頂きました。職人の伝統技とイキの良さが自慢の国産純粋種豚改良協議会づくりのお手伝いを事務局は全力で対応致します!!

銘柄豚認定事業では引き続き国産純粋種豚を使った豚肉の優位性、さらには血統管理の重要性和それが改良の最初の一步であることも訴えていきたいと思ひます。

また、CSF や ASF についても、発生から長期間に渡って先の見えない状況に、生産者はとても疲弊しています。種豚及び種豚生産者をどう守るか、また種豚・精液の流通をスムーズに行い、遺伝資源である種豚を守っていくためにも、早急に国と一緒に対策を検討していく必要性があります。

意見交換会の締めとして、静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センターの寺田圭氏より、「効果的な改良を進めるにはデータ収集が重要であることを再認識した。最近ファイヤーシステム等の導入もあり、積極的にデータ収集も実践されている。国産純粋種豚の改良推進のためにも、静岡県も積極的に協力していきたい。」とご挨拶を頂きました。データ収集は地道で大変な作業です。しかしその1つ1つが、国産純粋種豚の能力向上を支えています。皆様、今後とも御協力のほど、よろしくお願い致します。



データ提出お願いします!!!
協議会遺伝的能力評価と種豚ランキングについて

令和3年7月に第一回の公表を実施しました、協議会遺伝的能力評価と種豚ランキング。特に種豚ランキングは事務局の想定以上の反応を頂いております。

協議会で提供する遺伝的能力評価結果と種豚ランキングは、会員が所有する種豚の持つ能力の数値化や種豚、精液の交流を図ることで、より良い国産純粋種豚の育種改良を行うことが目的で、会員である独立行政法人 家畜改良センターが評価及びランキングを実施しています。なお、評価結果及びランキングは会員向けサイト上での公表となるため、会員外の閲覧は出来ません。

独立行政法人家畜改良センターのホームページでも、本評価結果を紹介しています。

http://www.nlbc.go.jp/pressrelease/2021nendo/press_2021.html

協議会遺伝的能力評価及び種豚ランキングの精度を上げるためには少しでも多くの、皆様からのデータが重要な素材となります。積極的なデータ提出をよろしくお願いいたします。

※本データの閲覧方法等については事務局・神長(かみなが kaminaga@pig-pins.com)まで、データに対する詳細については独立行政法人家畜改良センター改良部までお願いいたします。

また、令和3年度総会議案として承認も頂きましたLP5値提出のお願いと、新たな取組としての『つなぎ評価』についても随時アナウンスしていきます。国産純粋種豚の能力向上スピードアップのためにも

よろしくお願いいたします。(LP5値については総会報告書20・21ページに、『つなぎ評価』については総会議案書と共にお送りした別添資料集に詳細資料があります。改めて資料が必要な方、またお問い合わせについては事務局まで御連絡下さい。)



(仮称)国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部
立ち上がります!!

業界の大きな悩みのひとつでもある『後継者不足』問題。ある日事務局職員が協議会会員名簿を眺めたところ、多くの会員の生産現場に若い世代が入っていることが改めて判明。こんな素晴らしい状況を放置するなど勿体ない、と提案させて頂いたのが、(仮称)国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部の立ち上げです。都道府県の会員の方、団体・試験研究機関の会員の方には現場の若い世代、新人さんに参加して頂き、これからの国産純粋種豚生産を中心となって支えて頂きたいと思います。また、師匠が元気かつ現役の間に培われてきた知恵と技術をしっかりと伝授してもらいましょう。

立ち上げにあたり、最初は年齢制限など原則儲けません。我は若者!!という会員の方の参加もお待ちしています。

立ち上げのための委員などもお願いをしていくことになりますが、立候補大歓迎です。

委員立候補、及び本事案に関するお問い合わせについては事務局までお願いいたします。



【進捗状況報告②】

国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚事業

令和3年度通常総会で国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定規則の一部改訂も承認され、認定申請開始となりました。現在の事業進捗状況などをお伝えいたします。

①認定期間と認定料を改訂しました

認定期間については認定取り消しの申し出がない限り、年度毎に申請内容の確認作業のみで期間継続を認めることになりました。また、認定料についても1銘柄につき5,000円(消費税別)に改訂となっております。詳しくは同封の『国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定に関する規則』を御参照下さい。

②協議会ホームページ

国産純粋種豚改良協議会ホームページ内に、認定銘柄豚専用ページを作成しております。国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚について、認定銘柄豚の個別紹介ページも非常に充実した内容になっていると事務局自負しております。是非、銘柄豚認定を取っていただき、本ホームページを有効活用してください。(現在仕上げ工事中です。公開までもう少しお待ちください。)

③看板について

『国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定に関する規則』第7条にあります、銘柄豚認定申請者のうち希望者に配布する看板のデザインを公表します!!木製のA4に近いサイズで非常に重厚感のある、まさに国産純粋種豚を体現してくれるような仕上がりになっております。有償配布となっておりますが、ご希望の数を配布できます。直売店、取扱精肉コーナー、料理店などに置いてPRしてください。

完成版デザイン(参考例)

主な仕様

材質: 木製(脚付)

厚さ: 約2cm

サイズ: A4程度

文字: 彫り文字

銘柄名: プレート

(艶消し金色)



③【皆様に強くお願いです!!】

肝心の認定銘柄豚が現在、1銘柄のみで1銘柄審査中、1銘柄申請手続き中です。国産純粋種豚を広く周知していくためにも是非、認定申請について取引先生産者にもお声がけよろしくお願い致します。

国産純粋種豚改良協議会 認定銘柄豚に関するお問い合わせは事務局までお願いいたします。



新しい会員の紹介です

愛知県(愛知県畜産総合センター 愛知県岡崎市)

諸般の事情でオブザーバー会員になっていた愛知県ですが、令和3年8月、再び会員に戻ってきてくれました。仲間が増えることは国産純粋種豚の改良促進だけでなく、組織としてのパワーアップにもなります。

国産純粋種豚と協議会のますますの発展のために、一致団結で取り組みましょう。

もう確認されましたか??飼養衛生管理基準(豚・いのしし) ガイドブック

改正された飼養衛生管理基準(豚・いのしし)について、ガイドブックができました。ガイドブックは、農林水産省ホームページにてPDFで公表されているほか、養豚生産者の皆さまには地元の家畜保健衛生所を通じて配布されております。未入手の方は是非、こちらをチェック!!

(参考)農水省ホームページ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/index.html

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が22名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め19名です。オブザーバー会員は4名となっております。正会員への変更手続き、新規入会をお待ちしています!!

中国及び東南アジアとイタリアでも発生した アフリカ豚熱(ASF)と 豚熱陽性イノシシが東北地域まで広がっている 豚熱(CSF)の防疫強化を!!

※2022年1月12日現在
タイ・イタリアでの発生が報告されています。

ASFは有効なワクチンのない非常に厄介な病気で、国内への侵入は全力を挙げて阻止しなければなりません。また、CSFの農場への侵入防止のため衛生対策を徹底しましょう

ASFウイルスは中国及びベトナムほか東南アジア・朝鮮半島、更には直近ドイツでも発生し、いつ日本に侵入してもおかしくない状況です。国に対し、水際防疫の強化を要請していますが国内養豚農場では防疫レベルを最高レベルに引き上げ、侵入を全力で阻止しましょう。

また、感染が広がっているCSFについても養豚経営の存続にも関わる疾病です。これ以上拡散しないよう飼養衛生管理基準を遵守し、農場の衛生対策を今一度確認いただき侵入防止に努めましょう。

種豚・精液、肥育もと豚等の 導入・販売でお困りの生産者の皆様へ』

相談窓口を開設しています。

国内で発生しております CSF 対策として一昨年からワクチン接種推奨地域においてワクチン接種による感染防止対策が行われています。

これにより、ワクチン接種した種豚等は非接種地域への移動が出来なくなり、この影響で従来の取引先から種豚・精液、肥育もと豚等の導入・販売が出来ずに困っているという相談が多数寄せられています。

JPPA では、国産豚肉生産への影響を少しでも緩和するため、**種豚・精液、肥育もと豚等の導入・販売に関してのご要望、ご相談をお受けし、可能な限り対応して参りますので**、情報をお寄せいただきますよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、頂いた情報は個人名等を除いた形で他団体等とも共有し、効果的なマッチングを図っていきたいと考えています。

つきましては、**種豚・精液、肥育もと豚等のマッチング用情報提供用紙**を作成しておりますので、事務局までご連絡ください。

また、現状の顧客以外に配布可能な豚等がございましたら、この取組の一助となりますので、事務局まで情報をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。**(情報提供用紙は JPPA ホームページでも提供しています。)**

●お問い合わせ等 窓口：国産純粋種豚改良協議会 又は
(一社)日本養豚協会 改良部

国産純粋種豚ホームページにあなたの自慢の種豚の写真を掲載しませんか?お問い合わせは事務局まで。



事務局からのお知らせ

「国産純粋種豚改良協議会」は
平成 28 年 3 月 31 日、オールジャパンでの種豚改良を
目指して発足しました。只今、会員絶賛募集中です!!

★令和 3 年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では令和 3 年度も種豚導入補助事業の事業実施主体となりました。国産純粋種豚の能力底上げが目標の事業です。本事業は単年度事業ですが、平成 26 年度から続いている事業で、会員及びオブザーバーの方で事業参加され、積極的に改良のための導入を行って頂きました。生産者間血縁構築にも有効に活用されています。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為に是非、有効活用しましょう。お問い合わせは事務局の湯浅までお願いします。

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップの、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。**是非、公式ホームページ・本日よりもご活用ください!!**

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データ

がたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしくお願いいたします。協議会認定銘柄豚事業もスタートしました!!協議会についてのお問い合わせもお待ちしております。

★産肉検定・豚人工授精師資格取得等について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思います。また、一般社団法人日本養豚協会 豚産肉能力検定規程の見直し検討を開始しました。皆様にはアンケートなど実施しますので、御協力よろしくお願い致します。最近非常に問合せが増えております、豚人工授精師資格取得や人工授精の講習会等、皆さんで情報交換を行いたいと思います。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

★国産純粋種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)



事務局のつぶやき・・・

ヒトの新型コロナウイルス感染が中国湖北省武漢市で確認されてから 2 年が経ちました。全世界の感染者は 3 億人に達する状況で、ワクチンや経口投薬が開発されているにもかかわらず、今もなおウィルスは変異を繰り返し感染拡大しています。このウィルス感染拡大は、全世界の経済活動、特に物流、人流に影響を及ぼし、日本の農業が改めて海外に頼りきっていることを痛感させられました。異常気象による自然災害なども徐々に増え続けている状況を考えると世界的な食料不足も危惧されます。今一度原点に返って国民の食料は日本国内で作ることを前提にした食料生産を皆で考える必要があるのではないのでしょうか。

イギリスでは、豚の希少品種を守るために、食べて応援しようという働きかけをしています。実際に登録された原種豚の頭数や農家も増えています。自国での生産を維持するための 1 つの取り組みとしてご紹介します。(事務局真打 著)



Cook & Eat

At home or at speciality restaurants

We are working with dedicated cooks and restaurant owners and the Slow Food Chefs Alliance and will be bringing you listings and menu suggestions.

Pedigree pork is packed with flavour. Once you have tried pork from Traditional breeds you may never want to go back to the commercial product. "So succulent", "tastes like pork used to taste" and "makes fantastic crackling" are just a few of the comments from customers and chefs.

Come back soon to find the best places to eat Pedigree Pork and how to get the most from your delicious pedigree pork when you cook it at home!

参考資料:英国養豚協会 HP <https://www.britishpigs.org.uk/>

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当:小磯・湯浅・海老原・神長

〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階

電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937

E-Mail:iibutatsukurou.kokujiyunkai@pig-pins.com

国産純粋種豚改良協議会公式ホームページ: <https://buta-kairyo.jp/>

ホームページの QR コードが出来ました

名刺などに入れて御活用ください!!

